

東部地区だより

第 14 号 令和 4 年度（下期版）

—発行—

2023 年 3 月 31 日

（令和 5 年）

東部地区社会福祉協議会

発行人 松本 健

災害は忘れた頃にやってくる

〔想定される災害〕

地震災害・・・南海トラフ地震：最大震度 6 弱を想定（今後 30 年以内に 70～80% の確率）

豪雨災害・・・金倉川浸水想定：大雨や満濃池決壊による洪水（村上池や満賀池も要警戒）

◆東部地区防災計画を策定・・・東部地区自主防災会（大西稔会長）



阪神淡路大震災では、地域によって倒壊した建物から救出された人の 8 割が、家族や近所の住民等によって救出されたと言われています。大きな災害のとき、すべての現場にすぐに救助隊が到着することは困難です。住民同士での助け合いが重要です。災害時に自分たちのまち（地区）を自分たちで守るため、地区防災計画を策定しました。地区防災計画は東部地区自治会の全世帯にお配りしています。

この計画書に基づき東部地区自主防災会では、「外部研修会」や地域に密着した「勉強会」を実施しました。

◆防災まち歩き

災害時の避難行動を想定、避難所（東部小）

～自身の居住地を歩いて用水路、ブロック塀、電柱、トランス、マンホール等、危険箇所をチェックしながら地図上に書き込む。（協力指導：中讃支部防災士会）（5 グループ 30 名参加）

令 5/1/22 実施→



◆防災研修会（倉敷市真備地区）

大規模河川水害の発生～復旧状況
市担当課長から説明（19 名参加）令 4/11/21



◆H U G（避難所運営ゲーム）（公民館）

南海トラフ地震を想定し、避難所の開設を紙上でシミュレーションする。（30 名参加）令 5/3/12



令和4年度下期の福祉関連トピックス

◆民生委員・児童委員が新しく任命されました。

民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場に立って相談・援助を行い、社会福祉の増進に努めることを任務としています。（市社協広報誌より）

東部地区 民生委員・児童委員名簿 （令和4年12月1日）（任期3年）

氏名	担当地域	備考
北條 扶美子	片原町4・5・6、栄町2・3、駅前、自衛隊文京宿舎	
岩崎 明彦	本郷通4、皇子、大和町、中通7	新任
中津 斎	上吉田東部、自衛隊東部宿舎、上吉田団地	
（未定）	中通4・5、本郷通1・2、片原町3、四国学院、中通5丁目朝会	
橋本 仁美	本郷通3、若宮町、中通6、サーバス上吉田	
牛田 正章	稲木本村（高速道路より南）	
横田 良一	稲木北部、稲木本村の一部（高速道路より北）	
北岡 利晴	下吉田永井、永井団地、下所の一部、下所東、下吉田北部	
小笹 和代	下吉田本村東・西、九頭神中央・東・西、下所の一部、稲木石川	新任
太田 耕造	満賀池住宅、千葉町、本村、皇子北、昭和町、水資源住宅	
立石 裕子	（主任児童委員）主に児童に関することを担当します。	
北野 美佳子	（主任児童委員）主に児童に関することを担当します。	

◆ふれあい・サロン代表者（令4年）

サロン名	代表者
永井サロン	勇野喜 智代子
喜久の会	粟津 節子
ささえあいの会	保科 ヒサ子
ちとせ会	米澤 ユリ子
わかばサロン	石井 美知代
稲木北部わかばお花の会	金崎 希美
むつみ会	秋山 八重子
にこにこサロン	西田 幸子
やよい会	宮崎 納生子
上東友の会	光家 秀子
皇子の森イキイキクラブ	田島 勇
ひまわり	馬場 福市
あじさい（紫陽花）	北條 扶美子
オニバス	金崎 弘
フレンドいなぎ	牛田 正章
杼樟の会	牛田 勲
さくら会	高木 由美

◆見守り活動推進員連絡会

日常生活の中で、一人暮らしの老人や高齢者世帯など、“さりげない見守り活動”での気づきを民生委員に連絡するなど、隣近所での支え合いに協力します。

ここでいう「見守り」は、監視や見張りではありません。日常のなかで「様子がおかしい」「いつもと違う」と気づくことが大切です。

（50名出席）令5/2/17 公民館にて ↓



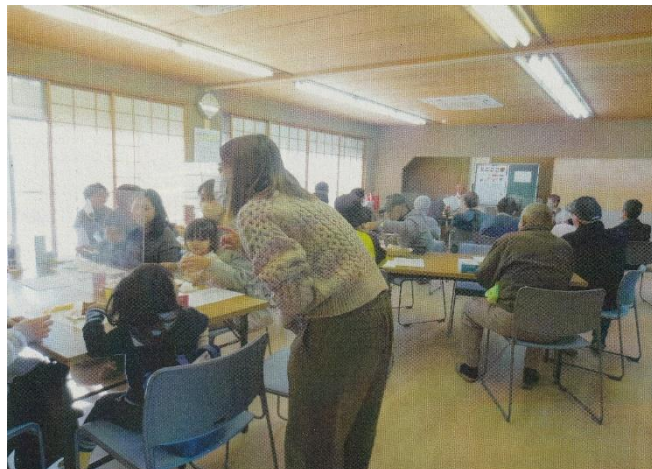
・代表者会 令5/2/10 公民館で実施

令和4年度下期の文化友愛活動

◆居場所づくり “ミニここ家” のお試し開催

カフェ、音楽、ゲーム、相談の4つのコーナーを設置し、来場者は好きな場所で自由に過ごす。

令4/12/9 公民館 協力：市 保健課、包括支援センター、市社会福祉協議会 ↓



◆サンタ幼稚園へ(ふれあい会)

幼稚園へクリスマスプレゼントをお届け 令4/11/25 ↓



◆ぴよぴよクラブ(令4年度は11回開催)

クリスマス会 令4/12/15 公民館 ↓



◆市老連文化祭(3年ぶりの開催)

芸能発表会 東部より5組延べ25名出場

市民会館ホール 令5/2/8 ↓



作品展 東部より32名34作品出展

市民会館ロビー 令5/2/6~8 ↓



令和4年度下期の外部研修会

◆イキイキときめき大学(校外学習)

多度津を知ろう 少林寺 (16 名参加) 令 5/1/20 ↓



◆野島断層(自治会長研修会)

野島断層保存館 (20 名参加) 令 4/12/4 ↓



◆ウォーキング(令和4年は5回開催)

まちなか黑板アート事業 5 回にわたり市内各所
善通寺駅構内 (約 50 名参加) 令 4/5/21 ↓



◆東部福寿会(バス研修旅行)

下津井回船問屋、吉備津神社、最上稲荷、他
写真は備中高松城跡 (24 名参加) 令 4/11/17 ↓



特記事項：「令和5年度の公民館まつり」は中止です。

編集後記 支え合い、助け合うまち 東部地区！

本紙3頁で取り上げた「居場所づくり」「ミニここ家」＝「東部ミニカフェ」は、地区社協の目指す『地域で取り組む健康づくりと支え合い』の一環です。高齢者の望みは「健康長寿」「人生の終わりまで健康で居続けたい」「介護を受ける期間を出来るだけ短くしたい」ということ。一番効果があるのは、閉じこもらず出来るだけ外に出かけること。仲間・友達・居場所・行くところを作ることが「健康長寿」につながります。コロナ禍で閉じこもりがちのなか、社協、保健課、包括支援センター、地区内諸団体の協力を得てお試し会を開催しました。かなりの手応えを感じました。来年度以降の新テーマとして発展させたいものです。

“東部地区だより” 第14号をお届けします。ご感想、ご投稿、写真提供をお待ちしております。

編集委員：大西稔、黒木勝、中津斎、松前美津枝、横田清美、大西正雄、大林一美、市崎恒昭、菅正、佐々木正博、松本健